

# V I E W

No. 88

発行責任者 湊 伸一

発行編集者 教 宣 部

## 新しい経営理念・行動指針と

## かけ離れた職場の実態！！

## これが安全最優先の行動か？！

4月14日（金）の夕方作業を終えて序舎4階に上がると「4月17日（月）からG編成・3次車の交検を施工するのでチェックシートを差し替える、よって従来のチェックシートは使用しないこと」という内容の掲示が貼ってありました。多くの社員は前日の昼に翌日（翌勤務日）の担当箇所がわかって以降、その分のチェックシートを勤務時間の合間に準備しています。ところが今回事前に「月曜日からチェックシートが変更になるから夕方以降差し替える新しいチェックシートを使用してください」という連絡もなく、夕方4階に上がるとその「掲示」が1枚貼ってあり、忙しい中「技術」の社員が一生懸命チェックシートの印刷をかけていました。近くにいた管理者に「もっと早く周知したり新しいチェックシートの差し替えをするべきでは」「月曜の朝出勤して自己の時間に業務に必要なチェックシートを準備しろというんですか」と尋ねたところ、「チェックシートを持っていくことぐらいできるだろう」「あとは現場で記入すればいい」というような返事が返ってきました。

しかし、以前から明らかにしているように、朝の点呼終了から班長の作業開始の放送までに十分な「作業準備・打合せ時間」はありません。みんな点呼を終えると現場詰所から作業カバンを持って慌ただしく各担当の工具ロッカーへと散っていきます。

会社はこの4月から会社発足30年に合わせて「経営理念」を改定しました。

その「行動指針」には『安全最優先の行動』や『信頼されるサービスの実践』が謳われていますが、今の作業ダイヤや職場の実態はそれらに反するのではないのでしょうか。

会社は約4年後には全般検査や台車検査の検査周期もさらに延伸したいとしていますが、要は『リニア建設のためにとことんコスト削減する』ということです。会社の「とことんコスト削減したい」という立場と、社員の「余裕をもって安全に働きたい」「よりよい賃金や労働条件で働きたい」という立場は相反するのです。若手社員を中心に日頃各種プロジェクトに忙しくしていて、そんなことを考える余裕もないかもしれませんが本来そういうものなのです。週に何度か「本日定時退社の日」というありがたい札が技術のカウンターに貼られますが、本来交検で突発作業などが発生して作業が遅れたとき以外は「毎日が定時退社」なんです。「残業代が助かる」と考える社員もいるかもしれませんが、自分の身を削ってお金にするより、よりよい賃金や手当を会社に求めればいいんです。そのために労働組合があるんです。

と、そんないらぬことを社員が考えないように「行動指針」の最後にあるように『規律ある一体感の醸成』をしようということではないのでしょうか？！